

スコアシート		実施設計段階				
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質						3.5
Q1 室内環境			0.40		-	4.0
1 音環境		3.0	0.15	3.3	1.00	3.3
1.1 騒音		3.0	0.50	3.0	0.50	
1.2 遮音		3.0	0.50	3.7	0.50	
1 開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能	戸境壁(RC造t180)D-50を採用	3.0	-	4.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)	置床仕様LL-45を採用	3.0	-	4.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)	床遮音性能LH-45を採用	3.0	-	4.0	0.20	
1.3 吸音		3.0	-	3.0	-	
2 温熱環境		2.6	0.35	5.0	1.00	4.8
2.1 室温制御		3.0	0.50	5.0	1.00	
1 室温		3.0	0.63	-	-	
2 外皮性能	断熱等性能等級4を取得予定	3.0	0.38	5.0	1.00	
3 ゾーン別制御性		3.0	-	3.0	-	
2.2 湿度制御		1.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式		3.0	0.30	-	-	
3 光・視環境		2.6	0.25	4.0	1.00	3.9
3.1 昼光利用		1.8	0.30	4.0	0.50	
1 昼光率	昼光率 住戸:4.90	1.0	0.60	5.0	0.50	
2 方位別開口		3.0	-	3.0	0.30	
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策		3.0	0.30	4.0	0.50	
1 昼光制御	住戸:カーテン+バルコニー庇	3.0	1.00	4.0	1.00	
3.3 照度		3.0	0.15	-	-	
3.4 照明制御		3.0	0.25	-	-	
4 空気質環境		3.6	0.25	3.3	1.00	3.3
4.1 発生源対策		4.0	0.60	4.0	0.63	
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆の建築材料をほぼ全面的に採用	4.0	1.00	4.0	1.00	
4.2 換気		3.0	0.40	2.3	0.38	
1 換気量		3.0	1.00	3.0	0.33	
2 自然換気性能		3.0	-	1.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮		-	-	3.0	0.33	
4.3 運用管理		3.0	-	3.0	-	
1 CO ₂ の監視		3.0	-	3.0	-	
2 喫煙の制御		3.0	-	3.0	-	
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	3.3
1 機能性		3.0	0.40	3.8	1.00	3.7
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	4.0	0.60	
1 広さ・収納性		3.0	-	4.0	-	
2 高度情報通信設備対応	100Mbitのブロードバンドが利用可能	3.0	1.00	4.0	1.00	
3 バリアフリー計画		3.0	-	3.0	-	
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30	3.5	0.40	
1 広さ感・景観	住戸:天高 2.55m	3.0	-	4.0	0.50	
2 リフレッシュスペース		3.0	-	3.0	-	
3 内装計画		3.0	1.00	3.0	0.50	
1.3 維持管理		3.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性		3.1	0.30	-	-	3.1
2.1 耐震・免震		3.0	0.50	-	-	
1 耐震性		3.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.5	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	床:シートフローリング(t=12)壁:ビニルクロス(PBt12.5)天井:ビニルクロス(PBt9.5)	4.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水:SGP(D) 給湯:HT(B) 排水管:VP(B) Eは不使用	5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	

2.4 信頼性			2.8	0.20		-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20		-	
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20		-	
3	電気設備		3.0	0.20		-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20		-	
5	通信・情報設備		2.0	0.20		-	
3 対応性・更新性			3.0	0.30	3.1	1.00	3.0
3.1 空間のゆとり					3.2	0.50	
1	階高のゆとり	階高 2.96m			4.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ				2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり					3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	1.00			
1	空調配管の更新性		3.0	0.20			
2	給排水管の更新性		3.0	0.20			
3	電気配線の更新性		3.0	0.10			
4	通信配線の更新性		3.0	0.10			
5	設備機器の更新性		3.0	0.20			
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20			
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.0
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30		-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40		-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30		-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50		-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.7
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.4
1 建物外皮の熱負荷抑制		断熱等性能等級4を取得予定	5.0	0.20		-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10		-	3.0
3 設備システムの高効率化		BEI 非住宅 - 住宅(専有部) 0.87	5.0	0.50		-	5.0
	集合住宅以外の評価(3a.3b)						
	集合住宅の評価(3c)	潜熱回収型給湯器を採用	5.0	1.00		-	
4 効率的運用			3.0	0.20		-	3.0
	集合住宅以外の評価						
4.1	モニタリング						
4.2	運用管理体制						
	集合住宅の評価		3.0	1.00		-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50		-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50		-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.2
1 水資源保護			3.4	0.20		-	3.4
1.1	節水	泡沫水栓等に加えて節水型便器を使用	4.0	0.40		-	
1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60		-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	1.00		-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		-	-		-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.0	0.60		-	3.0
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.10		-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20		-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20		-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	陶磁器タイル(外壁)	3.0	0.20		-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10		-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	躯体+軽鉄+仕上材のディテールを採用	4.0	0.20		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.7	0.20		-	3.7
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30		-	
3.2	フロン・ハロンの回避		4.0	0.70		-	
1	消火剤		-	-		-	
2	発泡剤(断熱材等)	ODP=0かつGWPが低い発泡剤(GWP(100年値)が1以下)を用いたノンフロン断熱材を採用	5.0	0.50		-	
3	冷媒		3.0	0.50		-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.4
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率=65%	4.4	0.33		-	4.4
2 地域環境への配慮			2.9	0.33		-	2.9
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25		-	
2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.50		-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制		2.7	0.25		-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25		-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.25		-	
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33		-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	
1	騒音		3.0	1.00		-	
2	振動		-	-		-	
3	悪臭		-	-		-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40		-	
1	風害の抑制		3.0	0.70		-	
2	砂塵の抑制					-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制			3.7	0.20		-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	広告物照明を行っていない	4.0	0.70		-	
2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	